

令和5年度 学校経営構想

各務原市立那加第二小学校

学校課題

・多様で変化の激しい社会の中で、個人や社会の多様性を尊重しつつ、幅広い知識と柔軟な思考力に基づき、主体的に課題を解決したり、他者とのコミュニケーションをとったり、協働したりして、高い志や意欲をもち、未来を切り拓いていく力を育成すること。

各務原市の方針

誇り・やさしさ・活力のある児童生徒
～ひとりひとりが幸せを実感～
・たくましく生き抜く力の育成 ・安心して学べる教育環境の提供

学校教育目標

ねばり強く やりぬく子
・自分で考える 〈自立力〉
・仲間と助け合う 〈共生力〉
・最後までやりきる 〈自己実現力〉

【児童のあいことば】

わたしが
みんなと
さいごまで

《生きる力》

・確かな学力 ・豊かな心 ・健やかな体

《指導の柱》

学ぶ意味や学ぶ喜びを味わえる学びづくり

- 1 「やってみたい」「わかった」「できた」が実感できる授業をつくる。
①「やってみたい」「わかった」「できた」が実感できる学習過程を仕組む。
②関わり合う活動を意図的に仕組み、思考力、判断力、表現力等を育成する。
③どの子にも確かな学力を身に付けるために、実態を把握し、実態に応じたきめ細かな指導、援助、見届けを行う。
- 2 自ら課題をもち、主体的に取り組む家庭学習を推進する。
- 3 興味・関心を深め、新しい気付きにつなげる読書活動を推進する。

信頼に満ちた安全・安心な学校づくり

- 1 思いやりと規律ある学校・学級経営を推進する。
①道徳教育、特別支援教育、人権教育の充実を図る。
②教育相談体制を確立する。
・一人一人の居場所を保障する。
・いじめを未然防止する。
- 2 健康教育・防災教育を推進し、たくましく生きる力を培う。
①運動に親しみ、体を動かす活動を充実する。
②望ましい生活習慣を確立する。
③自分の命を自分で守る意識の向上と行動する力を育成する。
④食に関する知識と望ましい食習慣を身に付ける指導をする。

全ての教育活動

教育活動の4本柱：学習、挨拶、掃除、ボランティア

個のよさを生み出す環境づくり

- 1 自主的、実践的な活動を支援し、一人一人の自己有用感を高める。
①学級活動や、児童会活動において、学級や学校の生活をよりよくするための活動のよさや大切さを指導する。
②児童会を中心とした創造的な活動を支援する。
③異学年とのふれあい活動を支援する。
③社会のためにできることを考えさせ、ボランティア活動に主体的に参加する機会を増やし、社会貢献の値打ちを感得できるよう指導する。
- 2 「生きること」や「働くこと」を考えたり体験したりする場を設け、「自分らしい生き方」を見つめ、夢や希望をもてるようにキャリア教育を推進する。
①基礎的・汎用的能力を育成する。〔人間関係形成・社会形成能力〕〔自己理解・自己管理能力〕〔課題対応能力〕

地域(さくら学園CS)・保護者との連携

- 積極的な情報発信、情報共有
- LSS (Life Study Support) ～育ちの9づくり～の取組
Ⅰ 3つの生活づくり ①早寝・早起き・朝ご飯 ②時間を守る ③ボランティア活動(お手伝い)
Ⅱ 3つの学習づくり ①家庭学習の習慣化 ②読書 ③地域先生
Ⅲ 3つの支援づくり ①1%投資活動 ②挨拶 ③声かけ・見届け

一人一人を大切にする職員集団

- 組織で動き、一丸となって指導にあたる職員集団
- いじめ根絶に向けて全力で取り組む職員集団
- 高い危機管理意識をもって取り組む職員集団
- 信頼される学校づくりを推進する職員集団
- 開かれた学校づくりを推進する職員集団